

鹿児島県看護研修会館に関するアンケート（第1弾）

昭和56年6月に完成した鹿児島県看護研修会館は、現在、築44年を経過し、老朽化が進んできており、早急に今後の看護研修会館のあり方を検討し、その方向性を決める必要があります。

県看護研修会館はどうあるべきか、会員はじめ看護職の皆様方の積極的なご意見を頂きますようアンケートへのご協力をお願いします。

問1 あなたは鹿児島県看護協会の会員ですか。

①はい ②いいえ

問2 あなたの看護職としての経験年数はどのくらいですか。

①5年未満 ②5年以上20年未満 ③20年以上

問3 あなたの現在の勤務場所は、次のどの地区ですか。

①鹿児島地区(熊毛を除く) ②南薩地区 ③川薩地区 ④出水地区 ⑤始良伊佐地区

⑥大隅地区 ⑦熊毛地区 ⑧大島地区

問4 あなたはこれまで県看護研修会館を利用したことがありますか。

①ある ②ない

問5 問4で「①ある」を選択した場合、その利用目的を以下の中から選択してください。(複数選択可)

①研修受講 ②図書館利用 ③学会・研究相談 ④会議・委員会 ⑤就業相談

⑥その他(具体的に)

問6 県看護研修会館が果たすべき機能として、今後強化・充実すべきもの次のうちどれですか。(複数選択可)

①研修機能 ②困りごと相談機能 ③就職相談機能 ④自己学習支援機能 ⑤図書館機能

⑥看護職への情報提供機能 ⑦看護職間の交流機能

⑧その他(具体的に)

問7 問6でその回答を選んだ理由や強化・充実するために必要な会館の部屋や設備などを具体的に記入して下さい。

問8 県看護研修会館の施設や設備等について、ご意見やご要望があれば記入してください。

県看護研修会館の現状等について

- 1 県看護研修会館は、年平均5百万円程度の維持修繕費がかかっており、老朽化が進むにつれ今後増大するとともに、外壁タイル修繕や窓枠サッシ交換などの大規模な修繕工事が必要となる見込みです。
- 2 鹿児島県看護協会は、令和3年度をピークに会員数が減少し、会費収入も減少しています。
- 3 会費収入が減少する一方で、人件費や維持修繕費用などの費用は増加しており、今後の協会の運営は厳しい状況が見込まれています。
- 4 看護研修会館の大規模な維持修繕や将来の新たな会館建設等に向けて資金積立を行ってきており、令和6年度末で残高は約4億円となっていますが、今後見込まれる大規模な修繕工事や収支悪化などにより、積立金の取崩しが急速に進む見込みです。
- 5 当協会の年会費は、12,000円(県協会分7,000円、日本看護協会分5,000円)ですが、九州各県の県協会分は、9,500円(長崎)、8,500円(宮崎)、8,000円(佐賀、熊本、大分、沖縄)、5,000円(福岡)です。また、沖縄・鹿児島以外の6県は、会館運営協力金などの名目で30,000円から60,000円を負担(入会金とは別に1回限り)しています。

問9 将来の新しい研修会館の建設についてどう思いますか。

- ①大規模修繕も含めて現在の会館を適切に維持しながら、長期的な資金計画の元、目標年次を決めて計画的に新しい会館の建設を目指すべき
- ②大規模修繕も含めて現在の会館を適切に維持しつつ、今後の資金積立の状況を見ながら、改めて建設時期を検討すべき
- ③最低限の維持修繕を行いながら、できるだけ早期の建設を目指すべき
- ④その他(具体的に)

問10 県看護協会の運営や看護研修会館の維持修繕などの現状を踏まえて、会費の引上げについてどう思いますか？

- ①会費引上げもやむを得ない ②会費引上げは反対 ③わからない

問11 問10で「②会費引上げは反対」を選択した場合、増加する維持修繕費用等を確保する方法について、具体的な提案があればご教示ください。

これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。